

連続シリーズ

偕行会リハビリテーション病院 新たな取り組み



薬剤師

今年度より病棟業務の拡充を目指して業務にあたっています。

まず服薬指導業務を例に取りますと、当院は回復期病棟であり、退院後の生活も視野に入れるという特性から、患者様に対して薬剤の詳細な説明を行うというよりもむしろ、患者様が薬を管理できるように「その方法を説明する」といった観点から指導を行うといったことが多かったと考えています。

現在は「薬剤の詳細」についても説明を加えていく余力が生まれ、服薬指導にかかる時間、件数ともに従来よりも増加傾向にあり、数か月しか経過していないとはいえ、大きな変化を見て取ることが出来ております。

7月からは「薬剤指導管理加算」についても算定を始め、薬剤師として今まで以上に専門的な知識を求められ、他職種のみでなく患者様に対しても、より責任を持って接していく姿勢が必要となります。自己研鑽に努めてまいります。



当院では「チーム医療」という概念をととても大切にしています。

他職種のスタッフと連携することも日常多々ありますが、今後の展望としては、現在は出来ていない「カンファレンスへの参加」等、より「顔の見える」薬剤師を目指して行きたいと考えております。

今後とも目の前にある業務に真摯に取り組み、より良い医療の一部を担えるよう努める所存です。

薬剤師 濱田浩彰